



2009年12月期 第1四半期 業績概要

株式会社フォーサイド・ドット・コム

証券コード: 2330

I 2009年12月期 第1四半期業績の概況

単体事業基盤の再構築により、

第1四半期(3ヶ月)営業利益黒字化を実現。

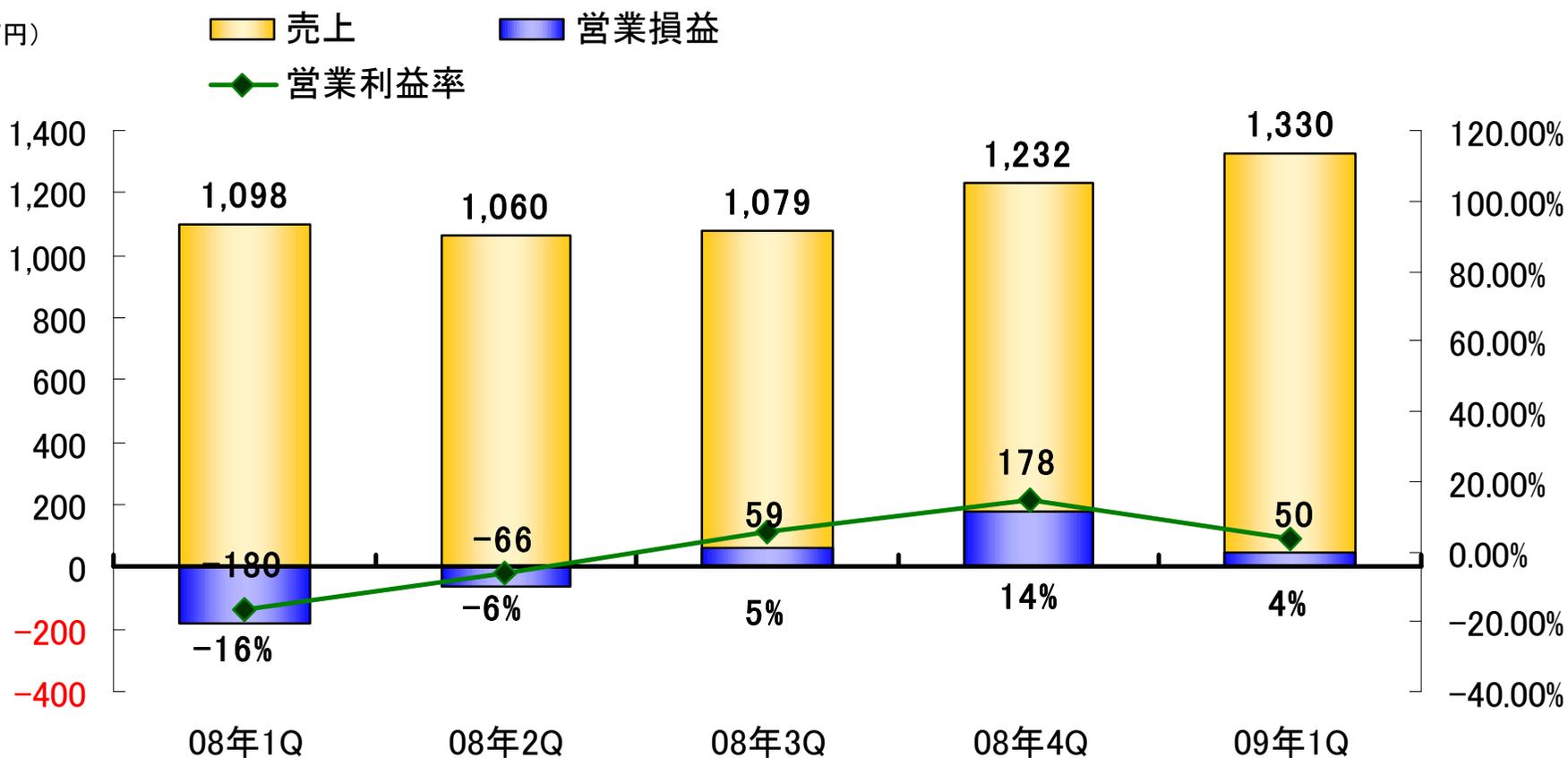
(単位:百万円)

	2009年第1四半期 (3ヶ月)		2008年第1四半期 (3ヶ月)		増減率
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	(%)
売上高	1,330	-	1,098	-	21.1%
売上総利益	966	72.6%	784	71.4%	23.2%
販売管理費	916	68.9%	965	87.9%	-5.1%
営業利益	50	3.8%	△ 181	-16.5%	-
経常利益	90	6.8%	△ 189	-17.2%	-
四半期純利益	141	10.7%	△ 122	-11.1%	-

前期同様の第1四半期集中のプロモーション投資を行ったが、

利益体制の構築により単体事業の利益創出を実現。

(単位:百万円)



09年1Q利益減少要因
 ・株主総会コスト(約4,000万)

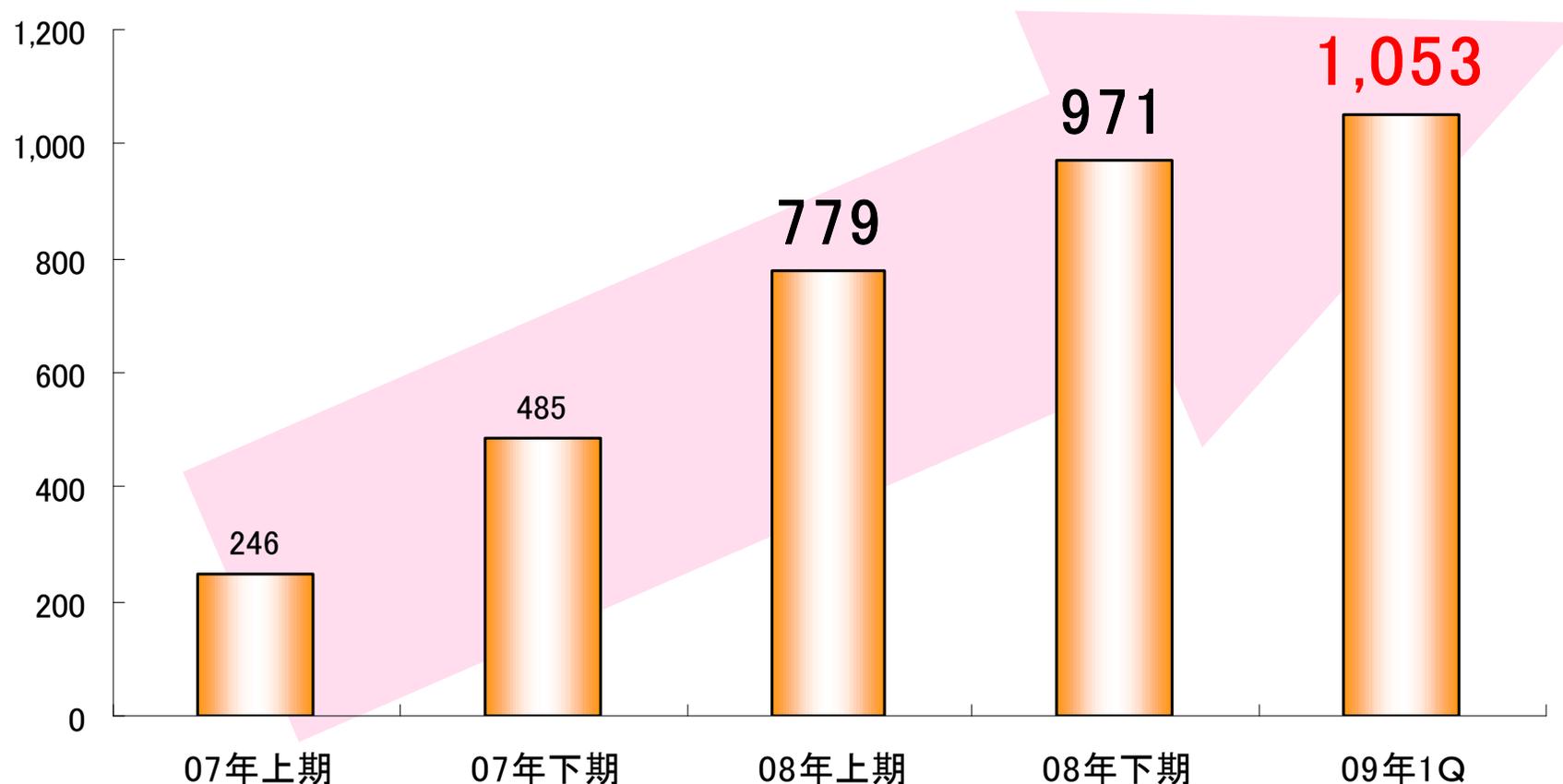
3G向け高額商品の投入、サービスの総合化により

さらにARPUが向上。(08年下期比 +8.44%)

※docomo、au、SoftBankにおける
3G会員入会売上平均単価

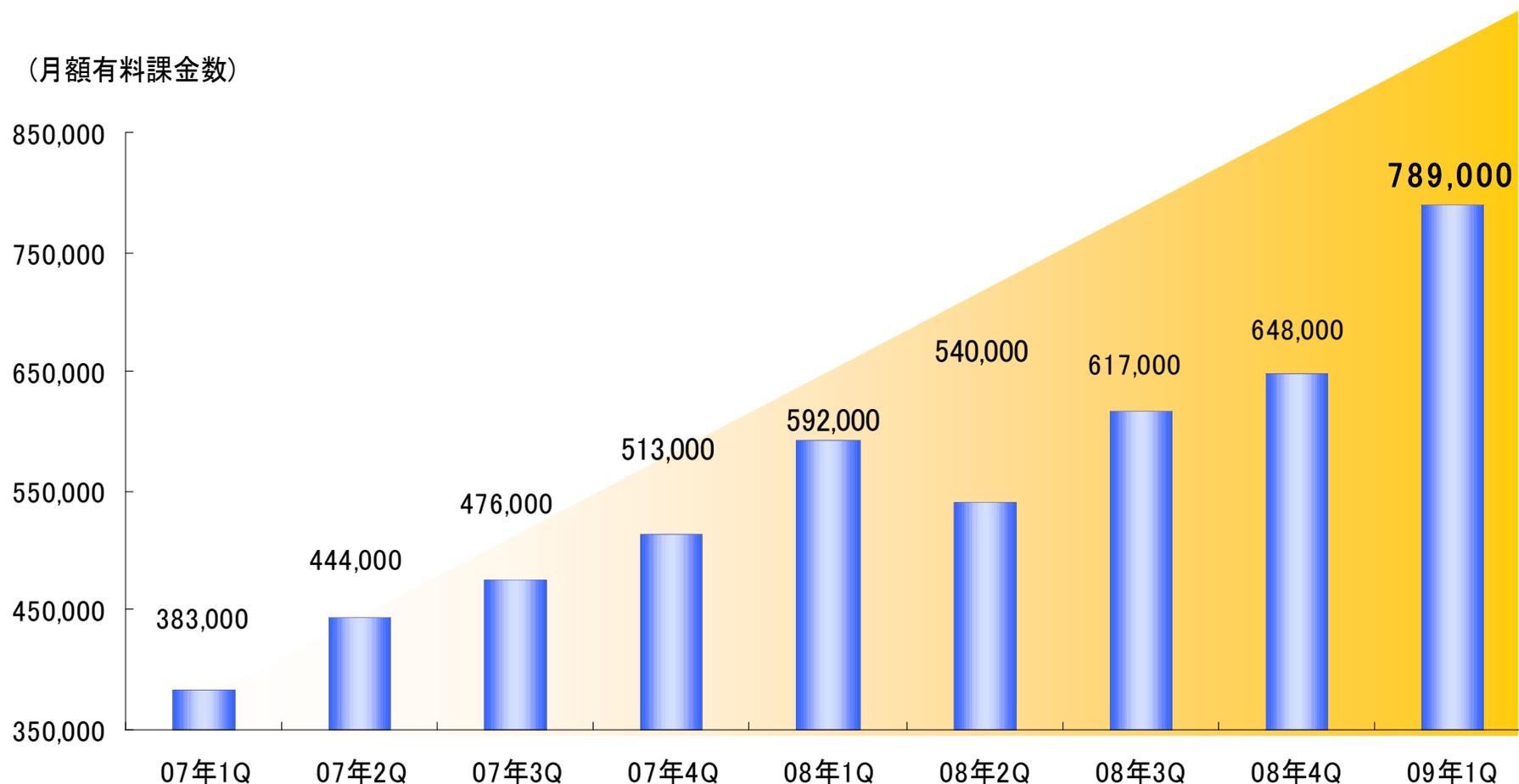
3G ARPU(顧客単価推移)

(単位:円)



3Gコンテンツ会員数が大幅に増加し、

78万9千人(前年同期比 133%)となった。



2009年第1四半期 新規サイト投入実績 電子書籍9サイト、着うたフル1サイト

キャリア	ジャンル	2009年第1Q投入サイト	投入月
Docomo	電子書籍	いつでもコミック	2009年2月
	電子書籍	ドキドキCOMIC	2009年2月
KDDI	電子書籍	めちゃヨミ★COMIC	2009年1月
	電子書籍	いつでもコミック★	2009年2月
	電子書籍	ラク読みコミック	2009年2月
	着うたフル	うたDX取放題	2009年2月
softbank	電子書籍	スグよみ★カラーコミック	2009年3月
	電子書籍	いつでもコミック	2009年3月
	電子書籍	ラク読み☆コミック	2009年3月



(C)羽田伊吹、美嘉/双葉社



(C)兄崎ゆな、ももしろ/双葉社



©倉塚りこ、こまち/For-side.com Co.,Ltd.



©MAKI、美琴/For-side.com Co.,Ltd.



(C)紺條夏生/双葉社



(C)PONYCANYON Inc.

市場拡大余力のあるジャンルへの集中投資で、

利益の最大化を図る。

マーケットアプローチ

市場規模の拡大、市場全体に占める割合が増大している

『電子書籍』事業へ積極的に投資

ターゲットアプローチ

ダウンロード会員、低額課金会員の獲得により安定顧客層の強化

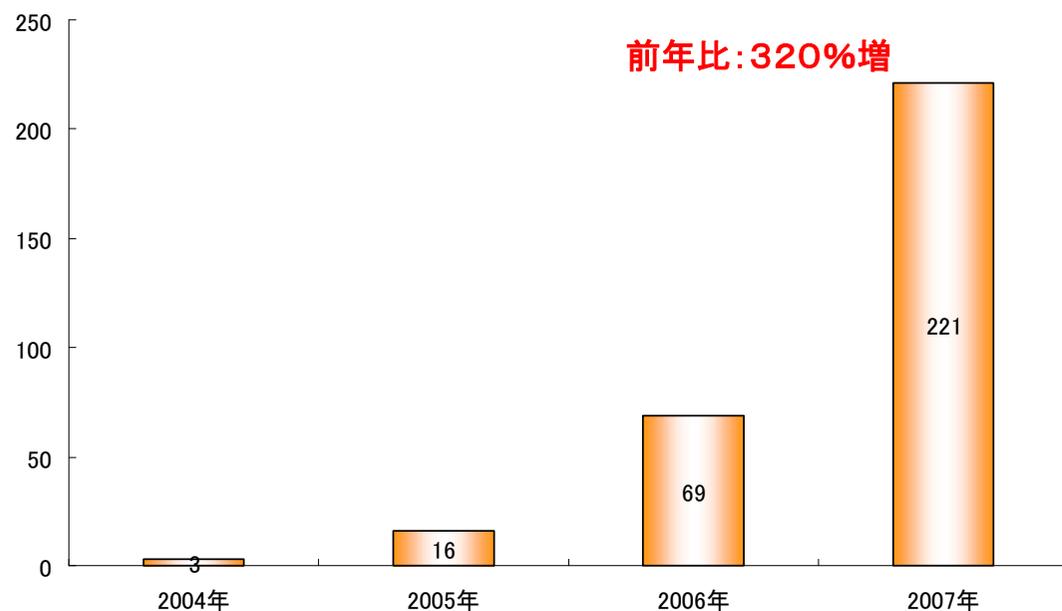
流通アプローチ

各種有力媒体との直提携、ASP各社との提携強化により獲得規模の拡大

電子書籍事業へ特化し、積極的に新規サイトを投入することにより、新たな収益機会の創出を行う。

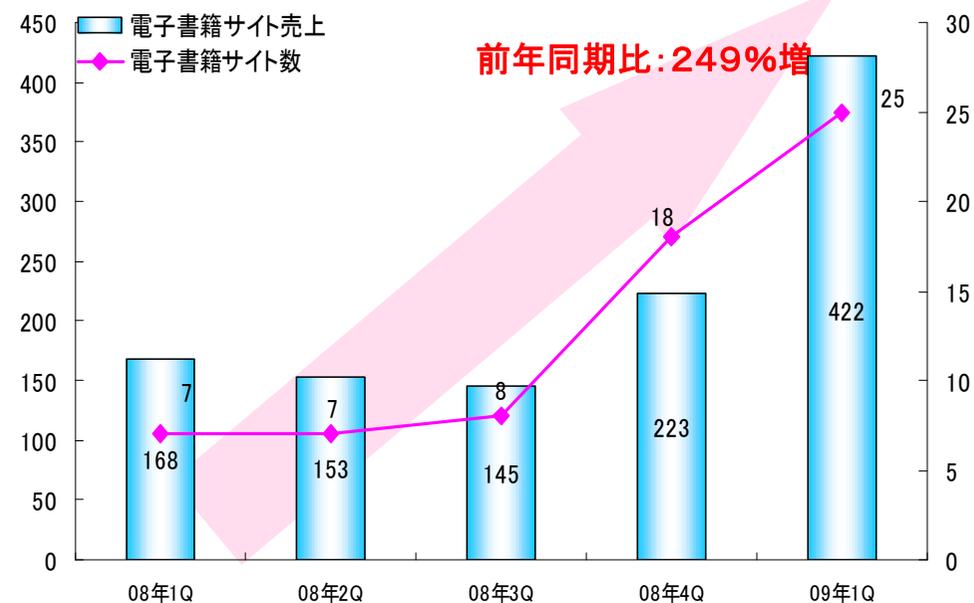
電子書籍市場

(単位: 億円)

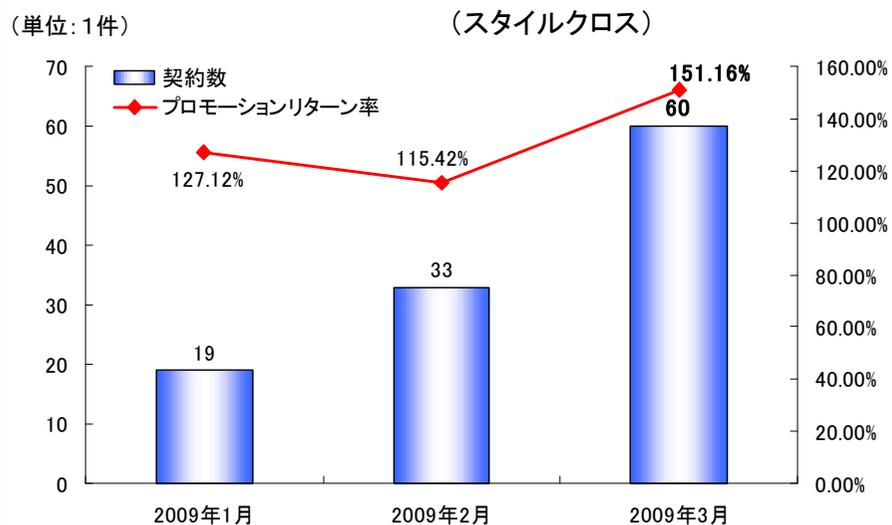


電子書籍サイト投入数と売上推移

(単位: 百万円)



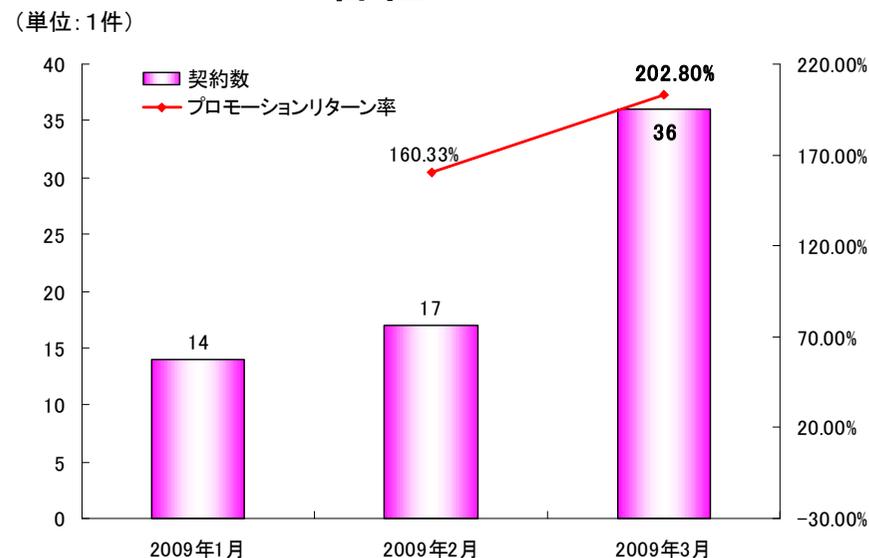
自社ASP Style-X



有力媒体とのつなぎこみを行い、
メディア力の向上、利益率の改善に努めた

+

各社ASP



提携ASPの数を増大させ、
獲得規模の拡大を図る

公式メニュー順位の上昇、プロモーション獲得会員の拡大により、
新規入会会員の獲得規模が最大に。

繰延税金資産の計上

前期第3四半期より安定的な利益体制が確立。

今期においても安定的な利益が見込まれる事より、繰延税金資産の計上を行った。

2009年第1四半期、繰延税金資産を計上

不正ユーザー対策

多くのメディアに対して直接繋ぎこみをおこなった事により、インセンティブ目的のユーザー増加等に伴って支払い遅延や未払いが増加した。

未払い金の回収

入会管理(不正ユーザーのブラックリスト)

ブラックメディア登録契約解消

第2四半期で早期改善し、売上・利益拡大を図る



**フォーサイド・ドット・コムは
モバイルインターネット領域に特化し、
『一步一步を、着実に。』歩んで参ります。**

—免責事項について—

本資料に記載されております計画や見通し、戦略など歴史的事実でないものは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他情報通信関連事業を取巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイド・ドット・コムに属します。